



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月2日

上場会社名 日清オイリオグループ株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 2602 URL <http://www.nisshin-oillio.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 隆郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 太田良 猛 (TEL) 03(3206)5670  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月6日 配当支払開始予定日 平成24年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	152,141	△2.5	2,533	△32.9	2,130	△38.7	1,050	△34.9
24年3月期第2四半期	155,982	4.5	3,775	△5.0	3,473	△1.8	1,612	0.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △1,411百万円 (-%) 24年3月期第2四半期 △1,039百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	6.32	—
24年3月期第2四半期	9.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	240,790	110,731	43.5
24年3月期	237,132	113,266	45.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 104,625百万円 24年3月期 107,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	330,000	5.6	6,500	10.2	6,000	11.2	3,000	△21.7	18.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名 )、除外 一社 (社名 )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有  
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期2Q	173,339,287株	24年3月期	173,339,287株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	7,161,496株	24年3月期	7,157,670株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期2Q	166,180,082株	24年3月期2Q	168,704,350株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なおこの四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、以下のとおりアナリスト・機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。

この説明会で使用する決算説明会資料 (四半期決算補足説明資料) につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成24年11月8日 (木) ……アナリスト・機関投資家向け決算説明会

(参考)

平成25年3月期の個別業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	188,000	3.0	3,500	△21.7	4,000	△23.8	2,500	1.8	15.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12
4. （参考）補足情報	13
個別業績の概要	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災からの復興需要等に支えられ回復を続けてきましたが、欧州の景気後退やアジア経済減速の影響を受け、足踏み状態となっています。

このような環境下において、当社グループでは、「GROWTH 10～『“植物のチカラ”を新たな価値へ』成長10年構想～」のもと、昨年度からスタートした中期経営計画「GROWTH 10 フェーズⅡ」において、「安定した収益基盤の確立」と「確かな成長の実現」をテーマに事業構造の変革を進め、利益志向・技術重視・海外市場開拓をキーワードに経営資源の再配分を積極的に推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績としましては、売上高は前年同期に比べ2.5%減少の1,521億41百万円となりました。また、利益面では、営業利益が25億33百万円と前年同期に比べ32.9%、経常利益が21億30百万円と同38.7%、四半期純利益が10億50百万円と同34.9%、それぞれ減少しました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## 〔油脂・油糧事業〕

油脂・油糧事業につきましては、引き続き厳しい環境となっております。穀物相場は、世界的な食糧需要の増加や南米・米国の大豆減産懸念などを背景に、大豆相場が史上最高値を更新するなど、当四半期累計期間を通して高値圏で推移しました。一方、為替につきましては円高の水準で推移したため、大豆・菜種などの原料価格は、前年同期並みとなりましたが、直前四半期との比較では上昇となりました。

国内につきましては、油脂製品について引き続き高付加価値商品の拡販を推進するとともに、適正な販売価格の形成に取り組みました。その結果、販売数量は前年同期比で増加しましたが、販売価格が前年後半に比べ上昇したものの、前年同期の水準までには至らなかったことにより、売上高は前年同期を下回りました。油粕につきましては、大豆粕においては、可食油需要の大豆油から菜種油へのシフトにより大豆搾油量が減少し、販売数量・売上高ともに前年同期を下回りました。菜種粕においては、販売数量は前年同期に比べ増加しましたが、需給の緩和により大豆粕に対する比価が低下したため、売上高は前年同期を下回りました。

大連日清製油有限公司につきましては、中国国内で原料コストの大幅な上昇分を製品価格に転嫁できない厳しい環境が続く中、採算重視の絞り込んだ販売活動等を実施しましたが、販売数量および売上高は前年同期並みの低い水準となり、利益面においても厳しい状況が続きました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同期に比べ2.5%減少の991億17百万円となり、営業利益は18億98百万円と前年同期に比べ27.4%減少しました。

〔加工油脂事業〕

国内の加工油脂事業につきましては、主としてショートニング類を中心に販売数量を伸ばし、利益面でも前年同期を上回りました。子会社の大東カカオ(株)につきましては、販売数量、売上高ともに前年同期並みを確保し、利益面では前年同期を上回りました。

Intercontinental Specialty Fats Sdn. Bhd. につきましては、販売数量は前年同期を上回りましたが、パーム油相場低下等の影響により売上高、利益面ともに前年同期を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同期に比べ7.5%減少の387億23百万円となりました。また、利益面では、Intercontinental Specialty Fats Sdn. Bhd. の100%子会社化に伴うのれんの償却が新規に発生したこともあり、営業利益が5億5百万円と前年同期に比べ47.5%減少しました。

〔ヘルシーフーズ事業〕

ドレッシング・マヨネーズ類につきましては、「日清ドレッシングダイエット」を中心に積極的な販売活動を展開したことにより、販売数量、売上高ともに前年同期を上回ることができました。また、治療食品や特保商品につきましても順調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同期に比べ2.0%増加の37億25百万円となり、営業損失は70百万円と前年同期に比べ38百万円改善しました。

〔ファインケミカル事業〕

化粧品原料につきましては、欧州の経済低迷や中国の成長鈍化の影響を受けたものの、アジア全体への拡販が順調に進み、輸出全体では前年同期を上回りました。一方、国内販売につきましては震災特需のあった前年同期までには至りませんでした。化粧品原料全体としては、前年同期を上回ることができました。一方、化学品・中鎖脂肪酸油の売上高につきましては、前年同期を下回りました。

Industrial Quimica Lasem, S. A. U. につきましては、昨年7月に株式を取得し連結子会社となり、第2四半期累計期間としては初めての業績寄与となりましたが、欧州の厳しい市場環境下での業績となっております。なお、7月に同社の株式を追加取得し、100%子会社となっております。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同期に比べ26.4%増加の64億8百万円となりましたが、新たなのれんの償却負担の影響もあり、営業利益は2億66百万円と前年同期に比べ29.9%減少しました。

〔大豆食品素材事業〕

大豆食品素材事業につきましては、生産・販売・技術サポートが一体となった事業展開や、新商品による顧客・市場開拓を進め、販売数量、売上高ともに前年同期を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同期に比べ18.9%増加の25億42百万円となり、営業利益は37百万円と前年同期に比べ28百万円増加しました。

〔その他〕

情報システム事業をはじめその他の事業の売上高は、前年同期に比べ1.3%減少の16億23百万円となりましたが、営業利益は1億86百万円と前年同期に比べ9百万円増加しました。

## 〔地域別売上高〕

中国、マレーシアなどのアジア向け売上高は、前年同期に比べ4.6%減少の228億円となりました。また、欧州、米国などのその他地域への売上高は、前年同期に比べ10.0%減少の128億92百万円となりました。なお、連結売上高に占める海外売上高の割合につきましては、前年同期に比べ1.0ポイント減少し23.5%となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債および純資産の状況の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ36億57百万円増加し、2,407億90百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が67億90百万円、短期貸付金が99億94百万円減少した一方で、売上債権が71億19百万円、たな卸資産が133億59百万円増加したことであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ61億92百万円増加し、1,300億59百万円となりました。短期借入金が増加したことが主な要因であります。

純資産は、主に繰延ヘッジ損益が19億89百万円減少したことにより前連結会計年度末に比べ25億35百万円減少し、1,107億31百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して、167億91百万円減少し、101億87百万円となりました。

## 〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、192億59百万円の減少となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益23億7百万円および減価償却費29億14百万円によるキャッシュの増加、売上債権の増加71億48百万円およびたな卸資産の増加132億41百万円によるキャッシュの減少であります。

## 〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動によるキャッシュ・フローは、14億44百万円の減少となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出20億15百万円、投資有価証券の償還による収入7億50百万円であります。

## 〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動によるキャッシュ・フローは、35億4百万円の増加となりました。主な内訳は、短期借入金の純増加49億68百万円、長期借入金の増加8億39百万円、長期借入金の返済による支出12億50百万円、配当金の支払8億31百万円であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降においても第2四半期累計期間同様に穀物相場が高値圏で推移しており、厳しい経営環境が続くと予想されますが、当社グループではコスト構造の改革を推進するとともに、引き続き高付加価値商品の拡販や適正な販売価格の形成を行い、予想数値の達成に向け努めてまいります。したがって、平成25年3月期連結業績予想につきましては、平成24年5月9日決算発表時の数値を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,222	10,431
受取手形及び売掛金	56,001	63,120
有価証券	251	203
たな卸資産	44,065	57,424
その他	17,597	9,872
貸倒引当金	△28	△19
流動資産合計	135,109	141,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,885	25,326
機械装置及び運搬具(純額)	16,032	15,295
土地	28,206	28,204
その他(純額)	3,838	4,894
有形固定資産合計	73,962	73,721
無形固定資産		
のれん	4,560	4,172
その他	1,805	1,679
無形固定資産合計	6,365	5,851
投資その他の資産		
投資有価証券	16,114	14,707
その他	6,108	6,013
貸倒引当金	△587	△588
投資その他の資産合計	21,636	20,132
固定資産合計	101,964	99,706
繰延資産		
社債発行費	58	52
繰延資産合計	58	52
資産合計	237,132	240,790

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,511	31,097
短期借入金	18,608	23,719
1年内償還予定の社債	5,000	10,000
未払法人税等	398	902
引当金	53	25
その他	17,786	19,505
流動負債合計	73,359	85,250
固定負債		
社債	25,000	20,000
長期借入金	17,540	17,178
引当金	2,387	2,331
負ののれん	13	9
その他	5,565	5,289
固定負債合計	50,506	44,808
負債合計	123,866	130,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,332	16,332
資本剰余金	26,072	26,072
利益剰余金	68,284	68,503
自己株式	△2,781	△2,782
株主資本合計	107,907	108,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,083	681
繰延ヘッジ損益	99	△1,890
為替換算調整勘定	△1,998	△2,290
その他の包括利益累計額合計	△814	△3,499
少数株主持分	6,173	6,105
純資産合計	113,266	110,731
負債純資産合計	237,132	240,790

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	155,982	152,141
売上原価	130,815	127,253
売上総利益	25,167	24,888
販売費及び一般管理費	21,392	22,354
営業利益	3,775	2,533
営業外収益		
受取利息	39	57
受取配当金	154	152
為替差益	118	3
負ののれん償却額	4	4
持分法による投資利益	101	72
その他	132	105
営業外収益合計	552	395
営業外費用		
支払利息	646	632
たな卸資産処分損	47	49
その他	159	115
営業外費用合計	853	798
経常利益	3,473	2,130
特別利益		
固定資産売却益	—	196
投資有価証券売却益	126	7
負ののれん発生益	—	16
特別利益合計	126	220
特別損失		
災害による損失	170	—
固定資産売却損	10	—
固定資産除却損	115	40
投資有価証券評価損	157	3
特別損失合計	454	44
税金等調整前四半期純利益	3,146	2,307
法人税等	1,424	1,017
少数株主損益調整前四半期純利益	1,721	1,289
少数株主利益	109	239
四半期純利益	1,612	1,050

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,721	1,289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△151	△394
繰延ヘッジ損益	△2,811	△2,018
為替換算調整勘定	194	△286
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△1
その他の包括利益合計	△2,761	△2,701
四半期包括利益	△1,039	△1,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△685	△1,634
少数株主に係る四半期包括利益	△354	223

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,146	2,307
減価償却費	3,006	2,914
のれん償却額	42	300
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2	14
受取利息及び受取配当金	△194	△210
支払利息	646	632
持分法による投資損益 (△は益)	△101	△72
災害損失	170	—
固定資産除売却損益 (△は益)	126	△155
投資有価証券売却損益 (△は益)	△126	△7
投資有価証券評価損益 (△は益)	157	3
負ののれん発生益	—	△16
売上債権の増減額 (△は増加)	1,329	△7,148
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△8,836	△13,241
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,916	△484
その他	△1,359	△3,273
小計	△5,907	△18,439
利息及び配当金の受取額	193	212
利息の支払額	△642	△634
法人税等の支払額	△95	△398
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,451	△19,259
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の純増減額 (△は増加)	△2	—
有形固定資産の取得による支出	△2,122	△2,015
有形固定資産の売却による収入	8	5
投資有価証券の取得による支出	△40	△14
投資有価証券の売却による収入	180	15
投資有価証券の償還による収入	300	750
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の取得による支出	△1,829	—
その他	△280	△185
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,785	△1,444
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	628	4,968
長期借入れによる収入	12,422	839
長期借入金の返済による支出	△1,976	△1,250
社債の発行による収入	9,933	—
社債の償還による支出	△5,010	—
配当金の支払額	△861	△831
自己株式の取得による支出	△2,267	△1
少数株主への配当金の支払額	△212	△50
その他	△97	△170
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,558	3,504
現金及び現金同等物に係る換算差額	95	408
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,415	△16,791
現金及び現金同等物の期首残高	15,992	26,978
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,408	10,187

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社は、本社に製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について国内および海外の包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。したがって、当社は事業部を基礎とした製品別セグメントから構成されており、「油脂・油糧事業」、「加工油脂事業」、「ヘルシーフーズ事業」、「ファインケミカル事業」および「大豆食品素材事業」の5つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な製品は、以下のとおりであります。

事業区分	主要製品
油脂・油糧事業	家庭用食用油、業務用食用油、加工用油脂、油粕
加工油脂事業	パーム加工品、チョコレート用油脂、マーガリン、ショートニング、チョコレート関連製品
ヘルシーフーズ事業	ドレッシング・マヨネーズ類、生活習慣病対応食品、高齢者・介護食品、治療関連食品、栄養調整食品、機能性素材、豆腐類
ファインケミカル事業	化粧品・トイレタリー原料、化学品、中鎖脂肪酸油、レシチン、トコフェロール、洗剤、殺菌洗浄剤、界面活性剤
大豆食品素材事業	食品大豆、大豆たん白
その他	コンピューター関連、販売促進、スポーツ施設経営、損害保険代理、不動産賃貸

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	油脂・ 油糧事業	加工油脂 事業	ヘルシー フーズ 事業	ファイン ケミカル 事業	大豆食品 素材事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	101,622	41,851	3,652	5,071	2,138	154,337	1,645	155,982	—	155,982
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,321	1,898	38	38	27	3,323	985	4,309	(4,309)	—
計	102,943	43,750	3,691	5,109	2,165	157,661	2,631	160,292	(4,309)	155,982
セグメント利益 又は損失(△)	2,614	962	△108	380	9	3,857	177	4,034	(259)	3,775

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額(259)百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	油脂・ 油糧事業	加工油脂 事業	ヘルシー フーズ 事業	ファイン ケミカル 事業	大豆食品 素材事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	99,117	38,723	3,725	6,408	2,542	150,518	1,623	152,141	—	152,141
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,418	1,923	38	77	30	3,488	1,030	4,518	(4,518)	—
計	100,536	40,646	3,763	6,486	2,573	154,006	2,653	156,660	(4,518)	152,141
セグメント利益 又は損失(△)	1,898	505	△70	266	37	2,637	186	2,824	(291)	2,533

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額(291)百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

### 3 地域に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	その他	合計
売上高	117,742	23,911	14,329	155,982
売上高に占める比率	75.5%	15.3%	9.2%	100.0%

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	その他	合計
売上高	116,448	22,800	12,892	152,141
売上高に占める比率	76.5%	15.0%	8.5%	100.0%

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

#### (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

該当事項はありません。

#### (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## 4. (参考) 補足情報

## 個別業績の概要

平成25年3月期第2四半期の個別経営成績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	89,882	△2.9	1,846	△29.5	2,373	△28.4	1,645	△21.1
24年3月期第2四半期	92,535	4.9	2,620	3.5	3,315	9.2	2,086	8.6

(注) 個別業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。